

# 伝票データインポート

テキストファイルを読み込み、各伝票データを作成します。  
対応するファイルの形式はタブ区切りテキストファイルです。

インポートできるデータは以下です。

- ・受注データ
- ・発注データ
- ・売上データ
- ・仕入データ

## Point

- ・インポートでは伝票の新規追加のみできます。既存伝票の変更、削除はできません。インポート後のデータを修正する場合は、各入力画面から行ってください。
- ・各伝票間の紐付けはできません。  
※インポートした受注と売上、発注と仕入を紐付けることはできません。
- ・名称などの文字項目の前後空白は削除されます。文字間の空白は削除されません。

## 1) インポート前準備: インポートするデータを作成

ふくろう販売にインポートするファイルを作成します。  
インポートするファイルの作成方法に指定はありません。  
タブ区切りのテキストファイル(.txt)またはCSVファイル(.csv)を取り込むことができます。

例) エクセルで手入力、他の販売管理ソフトから出力・・・など

The screenshot shows an Excel spreadsheet with the following data:

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1	伝票日付	得意先コード	仕入先コード	納入時間区分	納入時間	伝区コード	倉庫コード	商品CD	買数	単価	原単価		
2	20150417	0001-00	0001-00		0 0830	C10	0000	01 01 AO-25X8000	1	1000	800		
3	20150417	0001-00	0001-00		0 0830	C10	0000	01 02 AO-30X9000	1	2000	1600		
4	20150417	0002-00	0002-00		1 0859	C10	0000	01 01 AO-25X8000	1	1000	800		
5	20150417	0002-00	0002-00		1 0859	C10	0000	01 02 AO-30X9000	1	2000	1600		

The screenshot shows a file named '伝票インポートテスト1' with the following details:

名前	更新日時	種類	サイズ
伝票インポートテスト1	2015/06/15 16:25	テキストドキュメント	1 KB

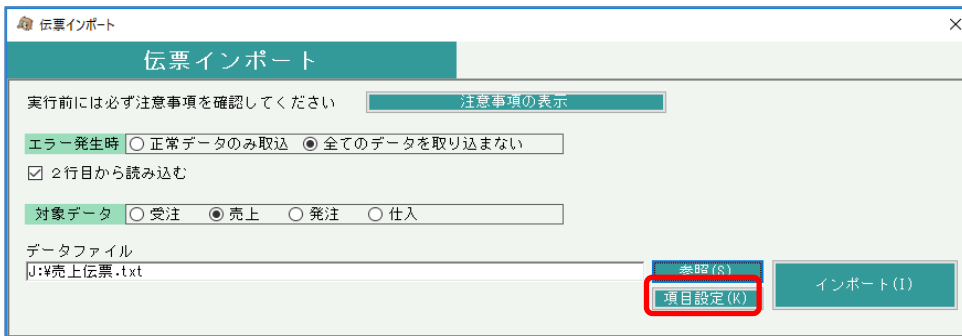
エクセルでインポートファイルを作成する場合

- ①エクセルでインポートファイルを作成
- ②名前を付けて保存からタブ区切りのテキストファイルを選択
- ③任意のフォルダにインポートファイルを保存

2) インポート前準備: インポート項目の設定

各インポートデータ毎にインポートする項目を設定することができます。  
以下、契約見積データを例に説明します。

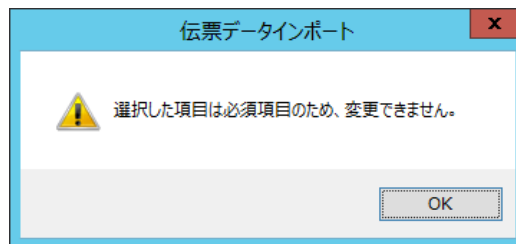
① 伝票インポート画面から「項目設定」ボタンをクリックします。



② 項目設定画面で項目を設定します。



- ・項目の変更、移動、追加、削除の操作ができます。
  - ・OKボタンをクリックすると、設定内容が保存されます。
  - ・キャンセルボタンをクリックすると、設定内容は保存されません。
- ※インポート必須項目は項目変更、削除できません。  
以下のメッセージが表示されます。



③ 必要な項目がなければ、項目を追加します。

The sequence of screenshots illustrates the process of adding a new item:

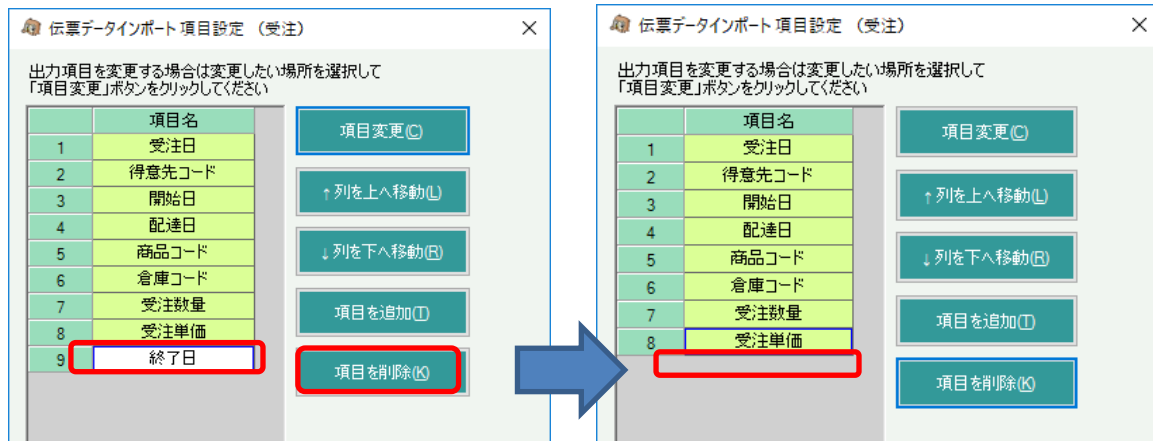
- The first screenshot shows the '項目を追加' button being clicked in the '項目設定' dialog box. A red box highlights the button and the empty row 9 in the table.
- The second screenshot shows the '項目変更' dialog box. The '終了日' (End Date) item is selected in the '基本情報' section. A red box highlights the '終了日' item.
- The third screenshot shows the '項目設定' dialog box again, but now with '終了日' added to the table in row 9. A red box highlights the '終了日' item in the table.

「項目を追加」ボタンをクリックすると、空白の項目が追加されます。

「項目変更」ボタンをクリックすると、項目一覧が表示されます。追加する項目をクリックしてください。

空白に選択項目(終了日)が追加されました。

④ 不要な項目を削除



不要な項目にカーソルを合わせ、「項目を削除」ボタンをクリックすると項目削除で

⑤ 各インポートデータの必須項目

以下の項目は必須項目になります。項目削除、変更はできません。

■受注	■売上	■発注	■仕入
※ 受注No	※ 伝票No	※ 発注No	※ 伝票No
受注日	売上日	発注日	仕入日
得意先コード*	得意先コード*	仕入先コード*	仕入先コード*
開始日	開始日	開始日	開始日
配達日	配達日	配達日	配達日
商品コード	商品コード	商品コード	商品コード
倉庫コード	倉庫コード	倉庫コード	倉庫コード
受注数量	売上数量	発注数量	仕入数量
受注単価	売上単価	発注単価	仕入金額

※ 受注No、伝票Noなどは採番方法が手入力時のみ、必須指定になります。  
自動採番の場合はインポート時に自動で番号が設定されます。

※ 売上、仕入は金額を指定します。  
単価を項目に指定しない場合、金額÷数量で自動設定されます。(端数は四捨五入)

Point

- ・同じ項目を複数行に設定することはできません。
- ・空白の行は設定することはできません。
- ・インポートデータは列番号順に並べる必要があります。

A	B	C	D	E	F	G	H	I
受注日	得意先コード*	開始日	配達日	商品コード	倉庫コード	受注数	受注単価	得意先名 1
20210308	000008	20210309	20210310	0100401	0001	5	3000	ふくろう太郎株式会社
20210308	000008	20210309	20210310	0100401	0001	5	3000	ふくろう太郎株式会社
20210308	000008	20210309	20210310	0100401	0001	5	3000	ふくろう太郎株式会社
20210309	000008	20210309	20210310	010-001	0001	5	3000	ふくろう太郎株式会社
20210309	000008	20210309	20210310	0100401	0001	5	3000	ふくろう太郎株式会社
20210309	000008	20210309	20210310	0100401	0001	5	3000	ふくろう太郎株式会社

## 3) データインポート

各伝票のファイルを指定して、「インポート」ボタンをクリックすると、処理が始まります。

## Point

- ・ インポートのエラー時の動作を以下①、②のいずれかに設定できます。

- ① エラーデータはスキップし、正常データのみをインポートします。  
エラーデータは元のファイル名 + 「未処理伝票」という名前のファイルが作成されます。  
エラー分のみインポートできていない状態となります。  
「未処理伝票」のファイル内容を修正し、修正したファイルを指定してインポートしてください。
- ② エラーデータがある場合はインポート処理を全件中止します。  
エラー内容が表示されますので、原因を取り除いて再度全件インポートする必要があります。

※ 「2行目から読み込む」チェックを付けると、インポートデータの1行目は無視されます。  
1行目に列タイトルなどを入力している場合はチェックを付けてください。

A	B	C	D	E	F	G	H	I
受注日	得意先コード	開始日	配達日	商品コード	倉庫コード	受注数	受注単価	得意先名1
20210308	000008	20210309	20210310	0100401	0001	5	3000	ふくろう太郎株式会社
20210308	000008	20210309	20210310	0100401	0001	5	3000	ふくろう太郎株式会社
20210308	000008	20210309	20210310	0100401	0001	5	3000	ふくろう太郎株式会社
20210309	000008	20210309	20210310	010-001	0001	5	3000	ふくろう太郎株式会社
20210309	000008	20210309	20210310	0100401	0001	5	3000	ふくろう太郎株式会社
20210309	000008	20210309	20210310	0100401	0001	5	3000	ふくろう太郎株式会社

- ・ インポートファイルの形式に合わせて文字コードと区切り文字を設定することができます。  
CSVファイルをインポートする場合は区切り文字を「,(カンマ)」に設定してください。

## 4) インポートデータ削除

3)で取り込んだデータを一括削除、または取込日、伝票Noを指定して削除することができます。

- ① 削除する伝票を指定して「削除実行」ボタンをクリックします。  
確認メッセージが表示されるので、削除してもよければ「はい」をクリックして下さい。

インポートデータ削除

データインポートで作成した伝票を一括削除します。

- ・ 出荷済みの受注伝票、入荷済みの発注伝票は削除されません
- ・ 請求確定済み期間の売上傳票も条件が一致すれば削除されます。

受注    売上    発注    仕入

取込日 2019/01/31 ~ 2019/01/31

受注No

削除実行(D)

**Point**

- ・ 指定した条件で既にリレー伝票が存在する場合は削除できません。  
リレー伝票 …… インポートした伝票と紐づく伝票(受注伝票をリレーして作成された売上傳票など)
- ・ エラー発生時は全件削除を中止します。
- ・ 各伝票で手入力で登録した伝票は削除されません。

伝票データインポート

受注インポート項目内容 (1)

項目名	必須項目	データ型	全角文字	桁数(半角)	項目指定なしの場合の設定	備考
受注No	○	文字列		9		採番方法が手入力時のみ必須です。手入力以外の場合は、自動採番されます。
受注日	○	数字		8		yyyyMMdd形式で指定します。運用設定の入力可年月日を設定している場合は、その範囲内の日付を指定します。
得意先コード*	○	文字列		14		
開始日	○	数字		8		yyyyMMdd形式で指定します。
配達日	○	数字		8		yyyyMMdd形式で指定します。
商品コード	○	文字列		14		
倉庫コード	○	文字列		4		
受注数量	○	数字		18		
受注単価	○	数字		18		
得意先名1		文字列	○	100	得意先マスタより	
得意先名2		文字列	○	100	得意先マスタより	
担当者コード		文字列		4	得意先マスタより	
使用日程		文字列	○	40		
終了日		数字		8		yyyyMMdd形式で指定します。
納品時刻		数字		4		hhmm形式で指定します。
配達区分		数字		4		配達区分マスタのコードを指定します。
配達条件		文字列	○	40		
返却日		数字		8		yyyyMMdd形式で指定します。
返却時刻		数字		4		hhmm形式で指定します。
返却区分		数字		4		返却区分マスタのコードを指定します。
返却条件		文字列	○	40		
期間		文字列	○	8		
地区コード*		文字列		4		
先方注文No		文字列		20		
先方担当者		文字列	○	20		
締切形式		数字		1		月締め=0、都度=2
件名		文字列	○	40		
納入先コード*		文字列		14		
納入先名1		文字列	○	100	納入先マスタより	
納入先名2		文字列	○	100	納入先マスタより	
納入先郵便番号		文字列		8	納入先マスタより	
納入先住所1		文字列	○	100	納入先マスタより	
納入先住所2		文字列	○	100	納入先マスタより	
納入先電話番号		文字列		15	納入先マスタより	
摘要コード		文字列		7		
摘要名1		文字列	○	20	摘要マスタより	
摘要名2		文字列	○	20	摘要マスタより	
メモ		文字列	○	200		
取引方法		文字列	○	40		
支払方法		文字列	○	2		
使用目的		文字列	○	2		
伝区コード		数字		3	410:掛受注	以下の数字を指定します。 410:掛受注、412:掛値引、413:掛経費 420:現受注、422:現値引、423:現経費 490:摘要、491:構成 得意先マスタの現掛区分と伝区の現/掛が不一致の場合はエラーになります。
品名		文字列	○	40		運用設定で登録した小数点以下桁数まで指定
規格型番		文字列	○	40		
商品種別コード*		文字列		3	商品マスタより	
単位		文字列	○	4		
受注金額		数字		18	自動計算	

受注インポート項目内容 (1)

項目名	必須項目	データ型	全角文字	桁数(半角)	項目指定なしの場合の設定	備考
受注原単価		数字		18		
受注原価		数字		18		
課税区分コード		文字列		3	商品マスタより	課税区分マスタに登録している課税区分コード(売上)を指定します。
備考		文字列		40		
備考2		文字列		40		
チェックマーク		数字		1		チェックOn=1、チェックOFF=0
構成数		数字		18	1	伝区を構成にした場合のみ、設定可能です。

構成品をインポートする場合は、必ず前行にセット品の商品コードを指定してください。  
 構成品のみのインポートはできません。

売上インポート項目内容 (1)

項目名	必須項目	データ型	全角文字	桁数(半角)	項目指定なしの場合の設定	備考
伝票No	○	文字列		9		採番方法が手入力時のみ必須です。手入力以外の場合は、自動採番されます。
売上日	○	数字		8		yyyyMMdd形式で指定します。運用設定の入力可年月日を設定している場合は、その範囲内の日付を指定します。
得意先コード*	○	文字列		14		
開始日	○	数字		8		yyyyMMdd形式で指定します。
配達日	○	数字		8		yyyyMMdd形式で指定します。
商品コード	○	文字列		14		
倉庫コード	○	文字列		4		
売上数量	○	数字		18		
売上金額	○	数字		18		
得意先名1		文字列	○	100	得意先マスタより	
得意先名2		文字列	○	100	得意先マスタより	
担当者コード		文字列		4	得意先マスタより	
使用日程		文字列	○	40		
終了日		数字		8		yyyyMMdd形式で指定します。
納品時刻		数字		4		hhmm形式で指定します。
配達区分		数字		4		配達区分マスタのコードを指定します。
配達条件		文字列	○	40		
返却日		数字		8		yyyyMMdd形式で指定します。
返却時刻		数字		4		hhmm形式で指定します。
返却区分		数字		4		返却区分マスタのコードを指定します。
返却条件		文字列	○	40		
期間		文字列	○	8		
請求締日		文字列		8	得意先マスタの締日と売上から判定	yyyyMMdd形式で指定します。
地区コード*		文字列		4		
先方注文No		文字列		20		
先方担当者		文字列	○	20		
締切形式		数字		2		月締め=0、都度=2
件名		文字列	○	40		
計上フラグ		数字		1		チェックOn=1、チェックOFF=0
納入先コード*		文字列		14		
納入先名1		文字列	○	100	納入先マスタより	
納入先名2		文字列	○	100	納入先マスタより	
納入先郵便番号		文字列		8	納入先マスタより	
納入先住所1		文字列	○	100	納入先マスタより	
納入先住所2		文字列	○	100	納入先マスタより	
納入先電話番号		文字列		15	納入先マスタより	
摘要コード		文字列		7		
摘要名1		文字列	○	20	摘要マスタより	
摘要名2		文字列	○	20	摘要マスタより	
メモ		文字列	○	200		
取引方法		文字列	○	40		
支払方法		文字列	○	2		
使用目的		文字列	○	2		
伝区コード		数字		3	510:掛受注	以下の数字を指定します。 510:掛売上、511:掛売返、512:掛値引、513:掛経費 520:現売上、521:現売返、522:現値引、523:現経費 590:摘要、591:構成 得意先マスタの現掛区分と伝区の現/掛が不一致の場合はエラーになります。
品名		文字列	○	40		運用設定で登録した小数点以下桁数まで指定できます。
規格型番		文字列	○	40		
商品種別コード*		文字列		3	商品マスタより	
単位		文字列	○	4		
売上単価		数字		18	自動計算	



売上インポート項目内容（1）

項目名	必須項目	データ型	全角文字	桁数(半角)	項目指定なしの場合の設定	備考
売上原単価		数字		18		
売上原価		数字		18		
課税区分コード		文字列		4	商品マスタより	課税区分マスタに登録している課税区分コード(売上)を指定します。
備考		文字列		20		
備考2		文字列		20		
チェックマーク		数字		1		チェックOn=1、チェックOFF=0
構成数		数字		18	1	伝区を構成にした場合のみ、設定可能です。

構成品をインポートする場合は、必ず前行にセット品の商品コードを指定してください。  
 構成品のみのインポートはできません。

発注インポート項目内容

項目名	必須項目	データ型	全角文字	桁数(半角)	項目指定なしの場合の設定	備考
伝票No	○	文字列	○	9		採番方法が手入力時のみ必須です。手入力以外の場合は、自動採番されます。
発注日	○	数字		8		yyyyMMdd形式で指定します。運用設定の入力可年月日を設定している場合は、その範囲内の日付を指定します。
仕入先コード*	○	文字列		14		
開始日	○	数字		8		yyyyMMdd形式で指定します。
配達日	○	数字		8		yyyyMMdd形式で指定します。
商品コード	○	文字列		14		
倉庫コード	○	文字列		4		
発注数量	○	数字		18		
発注単価	○	数字		18		
状況		数字		1		発注=0、予約=1
使用日程		文字列	○	40		
納品時刻		数字		4		hhmm形式で指定します。
配達区分		数字		4		仕入配達区分マスタのコード*を指定します。
配達条件		文字列	○	40		
担当者コード*		文字列		4	仕入先マスタより	
返却日		数字		8		yyyyMMdd形式で指定します。
返却時刻		数字		4		hhmm形式で指定します。
返却区分		数字		4		仕入返却区分マスタのコード*を指定します。
返却条件		文字列	○	40		
期間		文字列	○	8		
地区コード		文字列		4		
先方担当者		文字列	○	20		
件名		文字列	○	40		
直送先コード*		文字列		14		
直送先名1		文字列	○	100	直送先マスタより	
直送先名2		文字列	○	100	直送先マスタより	
直送先郵便番号		文字列		8	直送先マスタより	
直送先住所1		文字列	○	100	直送先マスタより	
直送先住所2		文字列	○	100	直送先マスタより	
直送先電話番号		文字列		15	直送先マスタより	
摘要コード		文字列		7		
摘要名1		文字列	○	20	摘要マスタより	
摘要名2		文字列	○	20	摘要マスタより	
メモ		文字列	○	200		
取引方法		文字列	○	40		
伝区コード*		数字		3	010:掛発注	以下の数字を指定します。 010:掛発注、012:品値引、013:掛経費、014:諸経費、020:現発注、022:品値引、023:現経費、090:摘要 仕入先マスタの現掛区分と伝区の現/掛が不一致の場合はエラーになります。
品名		文字列	○	40	商品マスタより	
規格型番		文字列	○	40	商品マスタより	
商品種別コード*		文字列		3	商品マスタより	
単位		文字列	○	4	商品マスタより	
発注金額		数字		18		
課税区分コード		文字列		3	商品マスタより	
備考		文字列	○	20		
備考2		文字列	○	20		
チェックマーク		数字		1		チェックOn=1、チェックOFF=0

仕入インポート項目内容

項目名	必須項目	データ型	全角文字	桁数(半角)	項目指定なしの場合の設定	備考
伝票No	○	文字列	○	9		採番方法が手入力時のみ必須です。手入力以外の場合は、自動採番されます。
仕入日	○	数字		8		yyyyMMdd形式で指定します。運用設定の入力可年月日を設定している場合は、その範囲内の日付を指定します。
仕入先コード*	○	文字列		14		
開始日	○	数字		8		yyyyMMdd形式で指定します。
配達日	○	数字		8		yyyyMMdd形式で指定します。
商品コード	○	文字列		14		
倉庫コード	○	文字列		4		
仕入数量	○	数字		18		
仕入金額	○	数字		18		
支払締日		数字		8		yyyyMMdd形式で指定します。
使用日程		文字列	○	40		
納品時刻		数字		4		hhmm形式で指定します。
配達区分		数字		4		仕入配達区分マスタのコード*を指定します。
配達条件		文字列	○	40		
担当者コード*		文字列		4	仕入先マスタより	
計上フラグ		数字		1		
返却日		数字		8		yyyyMMdd形式で指定します。
返却時刻		数字		4		hhmm形式で指定します。
返却区分		数字		4		仕入返却区分マスタのコード*を指定します。
返却条件		文字列	○	40		
期間		文字列	○	8		
地区コード		文字列		4		
先方担当者		文字列	○	20		
件名		文字列	○	40		
直送先コード*		文字列		14		
直送先名1		文字列	○	100	直送先マスタより	
直送先名2		文字列	○	100	直送先マスタより	
直送先郵便番号		文字列		8	直送先マスタより	
直送先住所1		文字列	○	100	直送先マスタより	
直送先住所2		文字列	○	100	直送先マスタより	
直送先電話番号		文字列		8	直送先マスタより	
摘要コード		文字列		7		
摘要名1		文字列	○	20	摘要マスタより	
摘要名2		文字列	○	20	摘要マスタより	
メモ		文字列	○	200		
取引方法		文字列	○	40		
伝区コード*		数字		3	110:掛仕入	以下の数字を指定します。 110:掛仕入、111:掛仕返、112:掛値引、113:掛経費、114:諸経費、120:現仕入、121:現仕返、122:現値引、123:現経費、190:摘要 仕入先マスタの現掛区分と伝区の現/掛が不一致の場合はエラーになります。
品名		文字列	○	40	商品マスタより	
規格型番		文字列	○	40	商品マスタより	
商品種別コード*		文字列		3	商品マスタより	
単位		文字列	○	4	商品マスタより	
仕入単価		数字		18		
課税区分コード		文字列		3	商品マスタより	
備考		文字列	○	20		
備考2		文字列	○	20		
チェックマーク		数字		1		チェックOn=1、チェックOFF=0